
令和元年男女共同参画意識調査アンケート クロス集計報告書

令和3年9月
聖籠町総務課

調査の概要

1 調査の目的

計画に基づく取り組みにより、男女共同参画の理念に関し、町民の皆様にごどのように理解されているか、あるいはどのように意識が変化しているかを把握し、今後の計画推進の参考とすることを目的にアンケートを実施した。

2 調査対象

令和2年2月27日現在、16歳以上の町内在住者のうち2,000人を無作為に抽出した。

3 調査方法

郵送による配票及び回収

4 調査期間

令和2年3月10日～3月25日

5 調査内容

男女共同参画の理念の浸透度、意識の変化等

6 回収状況

標本数：2,000人

回収数：760人（回収率 38.0%）

7 集計・分析の方法

- 予算の関係上、単独での大規模なアンケートは困難であるため町の最上位計画である総合計画アンケートと併せて意識調査を実施した。
- 比率は百分率で示しており、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、個別データの比率を足しても合計比が100%にならない場合がある。

アンケート結果の概要（総合計画アンケート設問から抜粋）

問1 あなた（回答者）の性別をお答えください。
（○を1つ付けてください）

1	男	340
2	女	414
3	未回答	6

問2 あなたの年齢をお答えください。
（○を1つ付けてください）

1	10歳代	24
2	20歳代	53
3	30歳代	101
4	40歳代	131
5	50歳代	119
6	60歳代	158
7	70歳以上	171
8	未回答	3

問3 お住まいの地区は次の学区のうちどれですか。
（○を1つ付けてください）

1	蓮野学区	235
2	山倉学区	267
3	亀代学区	239
4	わからない	10
5	未回答	9

問4 あなたの職業等をお答えください。
（○を1つ付けてください）

1	農林漁業	30
2	会社員	245
3	会社役員	19
4	公務員・団体職員	35
5	自営業	40
6	パート・アルバイト	114
7	専業主婦	53
8	学生	36
9	無職	152
10	その他	30
11	未回答	5

問5 聖籠町に住んで何年（延べ年数）になりますか。
（○を1つ付けてください）

1	2年未満	23
2	2～5年未満	33
3	5～10年未満	40
4	10～20年未満	89
5	20年以上	572
6	未回答	3

男女共同参画意識調査アンケート結果の概要

問1 「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

0 未回答	8
1 知っている	393
2 知らない	359

問2 聖籠町で男女共同参画計画が実施されていたことを知っていますか。

0 未回答	11
1 知っている	124
2 知らない	625

問3 集落（自治会）の集会に参加しているのが多いのは、どちらですか（世帯の状況も含む）

0 未回答	16
1 男性	396
2 女性	126
3 わからない	222

問4 集落（自治会）の集会には、男性と女性どちらが参加した方がよいと思いますか。

0 未回答	5
1 男性	66
2 女性	28
3 男女どちらでも	631
4 わからない	30

問5 子どもの行事や集会には、男性と女性のどちらが参加した方がよいと思いますか。

0 未回答	7
1 男性	23
2 女性	72
3 男女どちらでも	631
4 わからない	27

問6 聖籠町において、女性は男性よりも地位が低い、または立場が弱いと思いますか。

0 未回答	8
1 思う	193
2 思わない	358
3 わからない	201

問7 生活をする上で、貧困などの様々な困難に直面していますか。

0 未回答	16
1 している	187
2 していない	557

問8 配偶者や恋人から身体的、または精神的な攻撃を受けたことがありますか。

0 未回答	9
1 ある	77
2 ない	674

問9 配偶者や恋人から暴力を受けた場合、相談のための窓口があることを知っていますか。

0 未回答	9
1 知っている	331
2 知らない	420

問10 女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思いますか。

0 未回答	8
1 思う	640
2 思わない	22
3 わからない	90

男女共同参画意識調査アンケート結果の概要

問11 男性が育児、炊事などの家事の役割を主体的に行うことに抵抗感がありますか。

0 未回答	6
1 ある	73
2 ない	595
3 わからない	86

問12 あなたは、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できていますか。

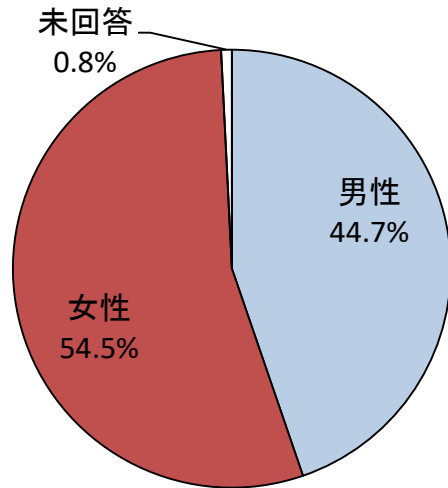
0 未回答	7
1 できている	267
2 できていない	125
3 わからない	361

問13 聖籠町は、性別にとらわれず、個人がその個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に力を入れていくべきだと思いますか。

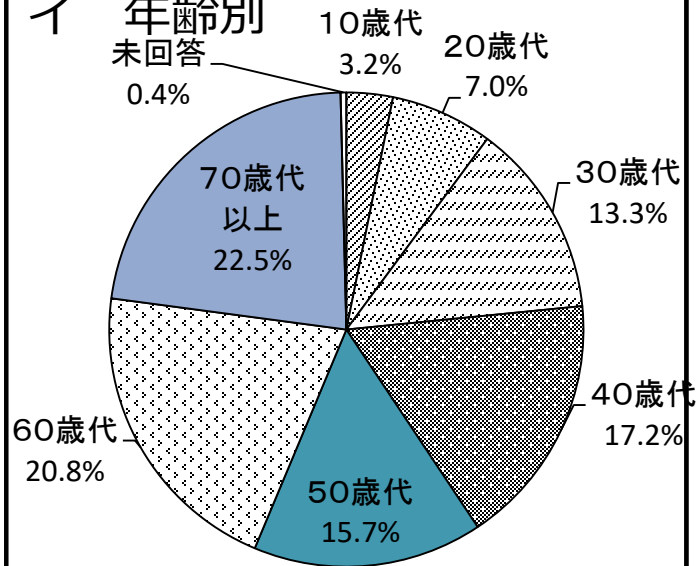
0 未回答	10
1 思う	584
2 思わない	19
3 わからない	147

1 回答者のこと

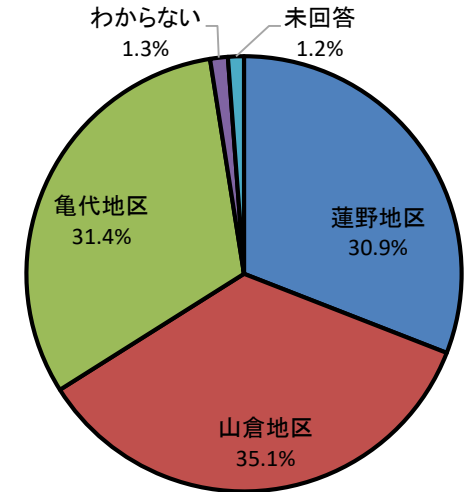
ア 性別



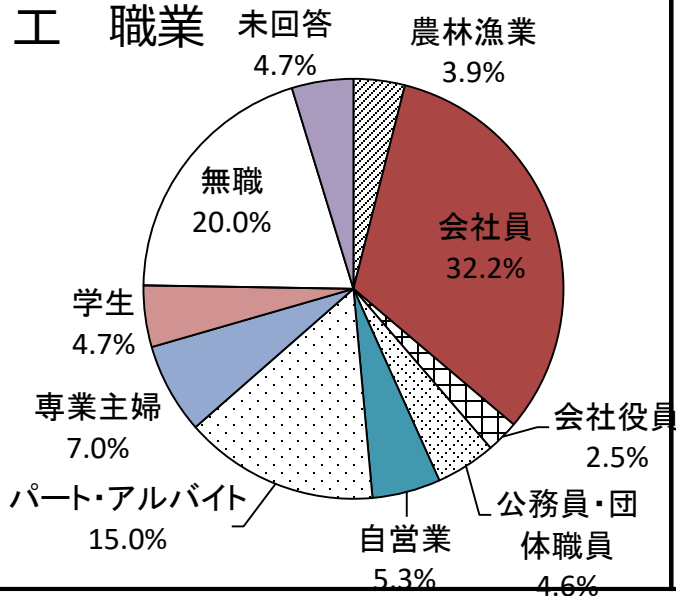
イ 年齢別



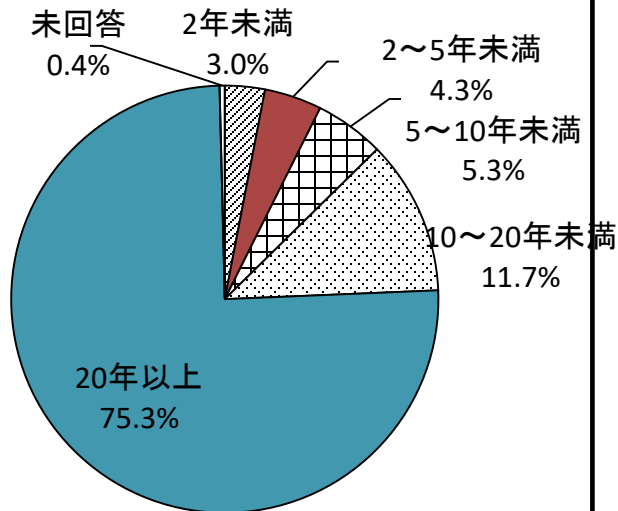
ウ 地区別



エ 職業



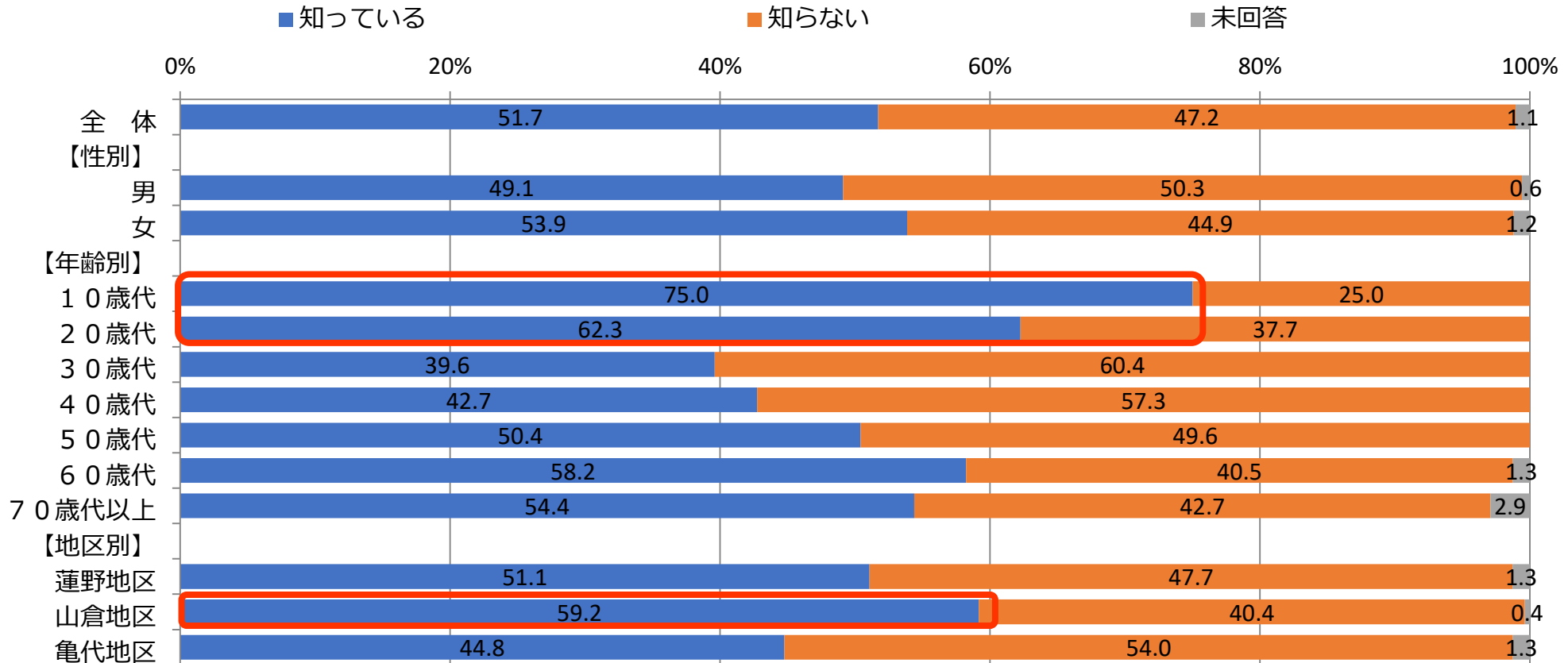
オ 居住年数別



2 クロス集計結果

問1 あなたは、男女共同参画という言葉を知っていますか。 【目標値（R4年度末）：70%以上】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



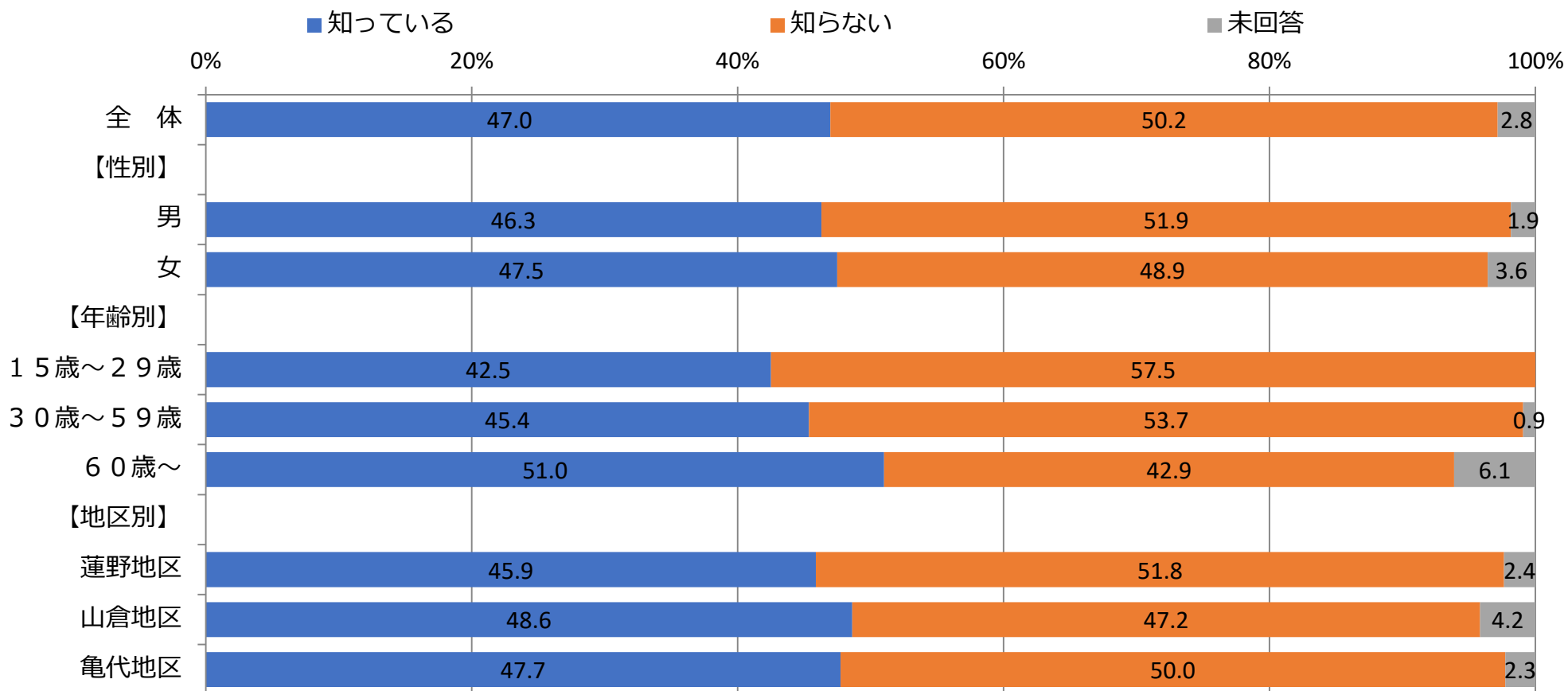
○分析

10歳代～20歳代の若い世代への認知度は高いが、30歳代より上の世代は認知度が若い世代と比較すると低くなっている。また、山倉地区の認知度が高くなっている。

2 クロス集計結果

問1 あなたは、男女共同参画という言葉を知っていますか。 【目標値（R4年度末）：70%以上】

（参考）前回調査比較(H26)

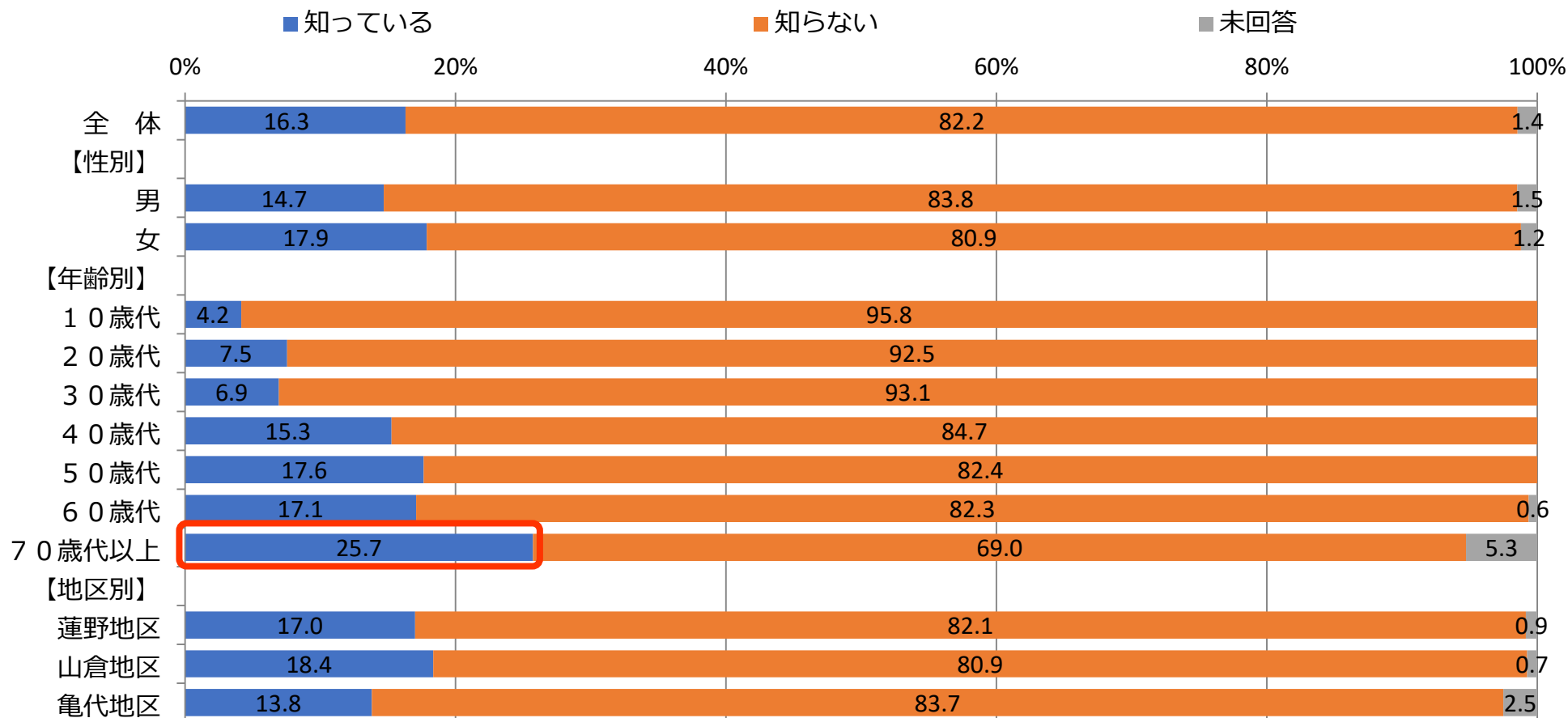


2 クロス集計結果

問2 聖籠町で男女共同参画計画が実施されていたことを知っていますか。

【目標値（R4年度末）：35%以上】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

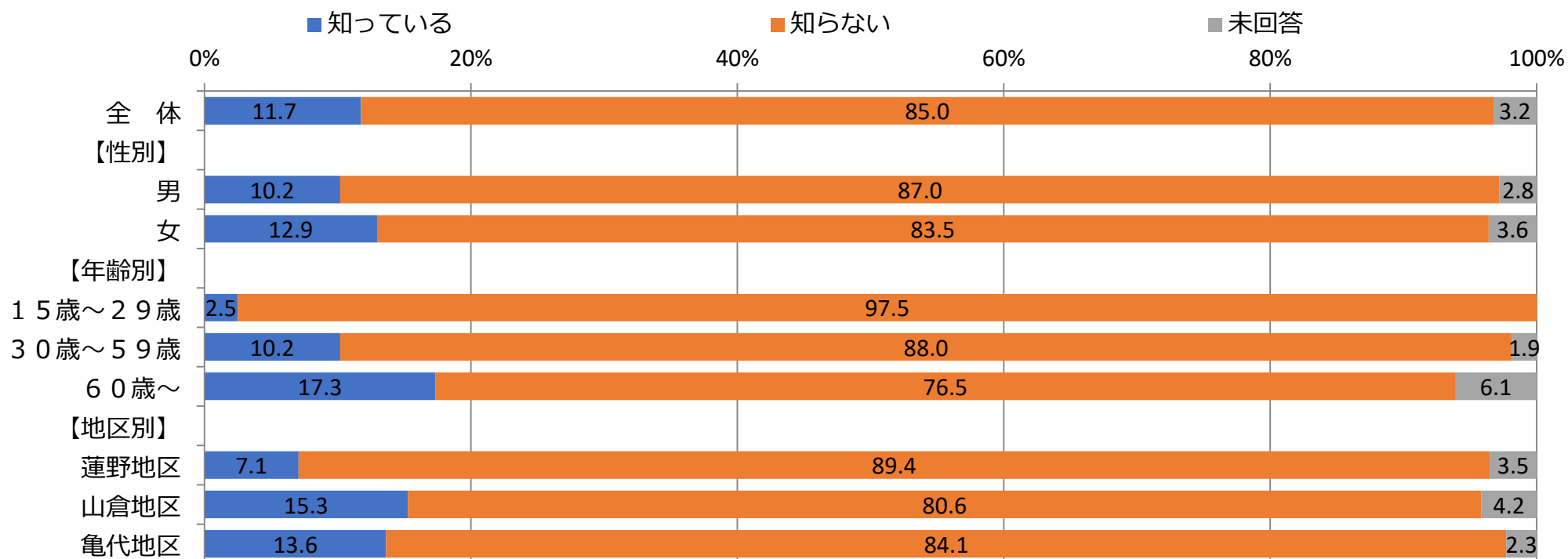
70歳以上の高齢世代への町男女施策の認知度は高いが、60歳以下の特に若い世代の町男女施策の認知度は低いため、今後は若い世代への広報に力を入れていくべきであると考えます。

2 クロス集計結果

問2 聖籠町で男女共同参画計画が実施されていたことを知っていますか。

【目標値（R4年度末）：35%以上】

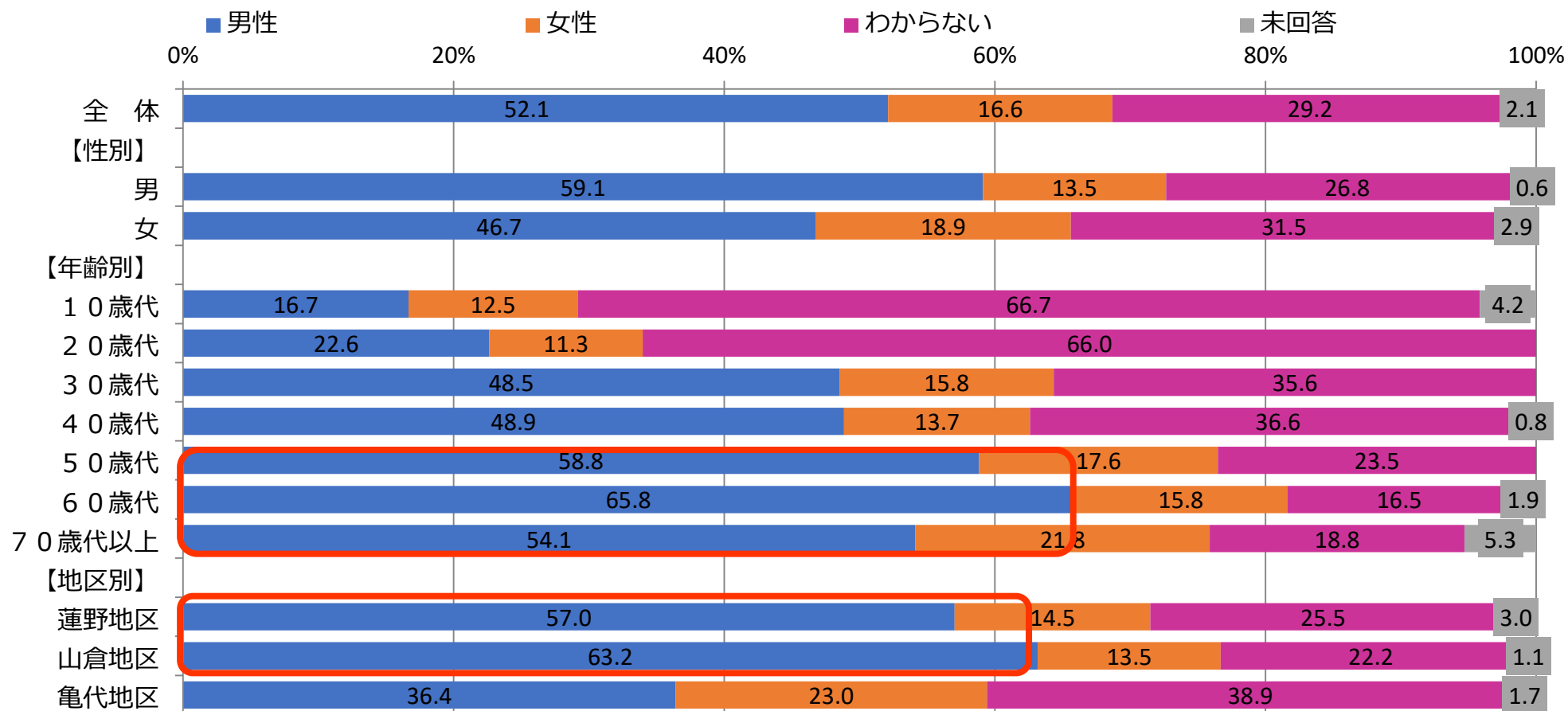
（参考）前回調査比較(H26)



2 クロス集計結果

問3 集落（自治会）の集会に参加しているのが多いのは、どちらですか。（世帯の状況も含む）
【目標値（R4年度末）：なし】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



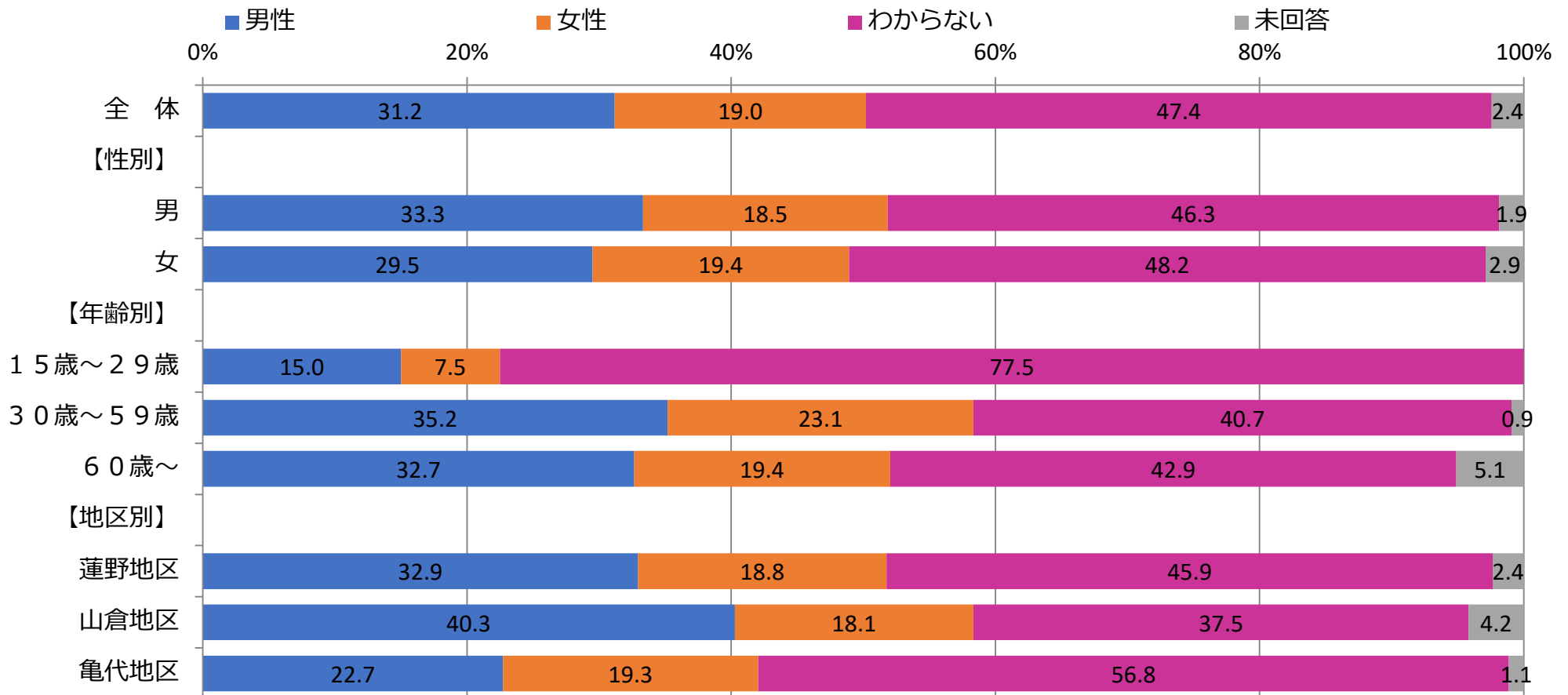
○分析

50歳代～70歳代の世代では、男性の方が集落（自治体）の集会に参加している傾向があり、全世代をとおして女性の参加が少ない。また、蓮野地区、山倉地区が亀代地区と比較して男性の参加が多い傾向がある。

2 クロス集計結果

問3 集落（自治会）の集会に参加しているのが多いのは、どちらですか。（世帯の状況も含む）
【目標値（R4年度末）：なし】

（参考）前回調査比較(H26)

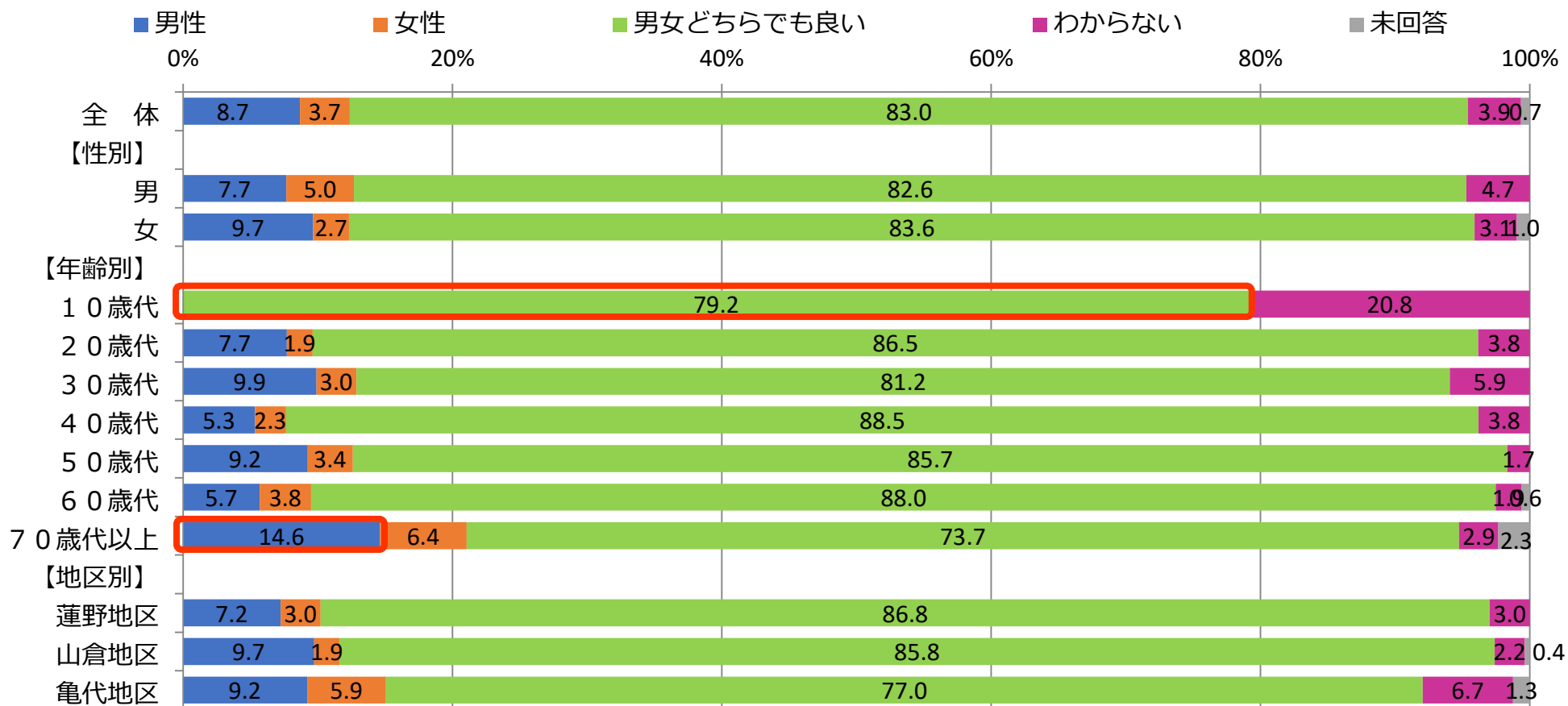


2 クロス集計結果

問4 集落（自治会）の集会には、男性と女性どちらが参加した方がよいと思いますか。

【目標値（R4年度末）：なし】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

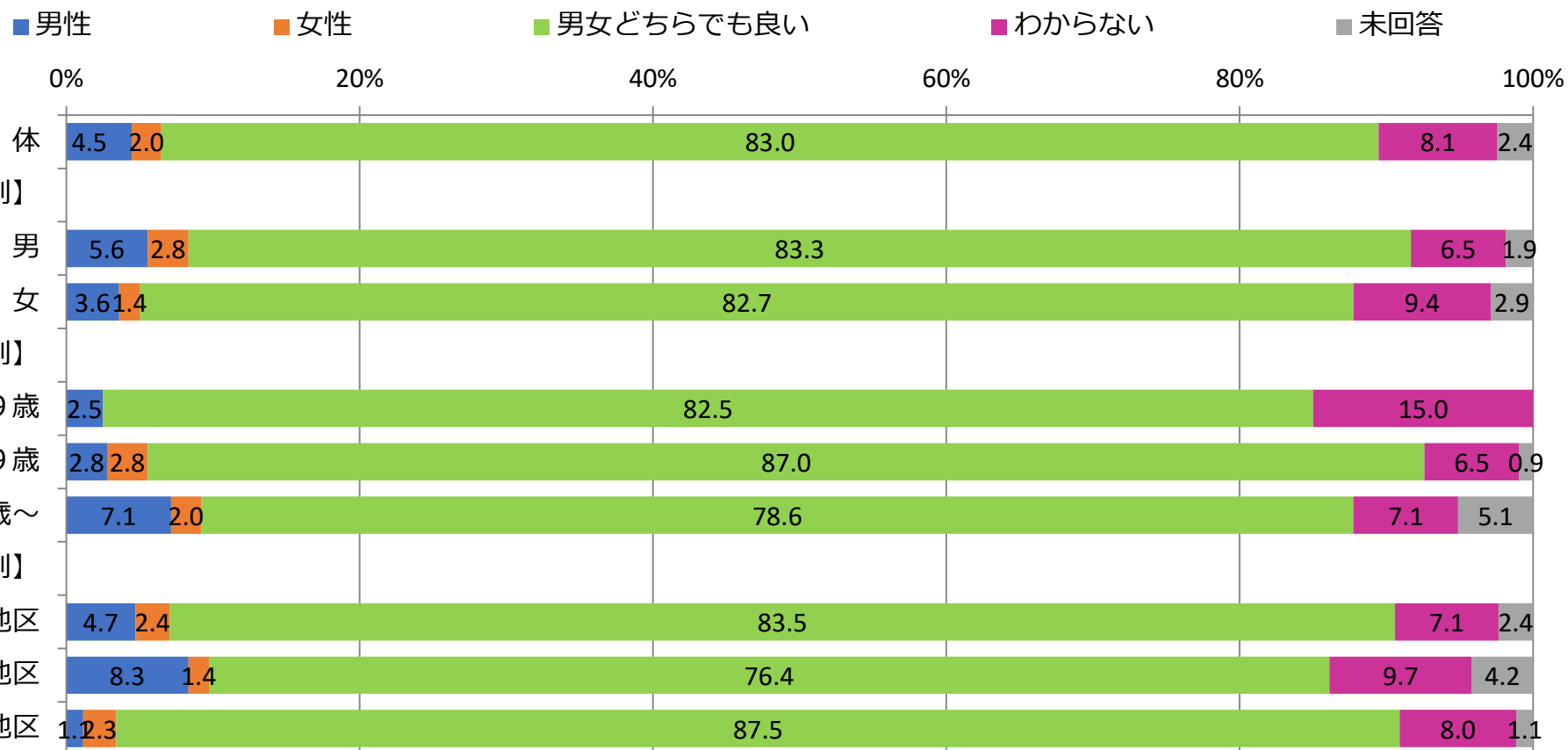
全世代をとおして「男女どちらでも良い」という意見が大多数であるが、10歳代と70歳代以上を比較すると若い世代の方がより男女問わないという意見が多い。

2 クロス集計結果

問4 集落（自治会）の集会には、男性と女性どちらが参加した方がよいと思いますか。

【目標値（R4年度末）：なし】

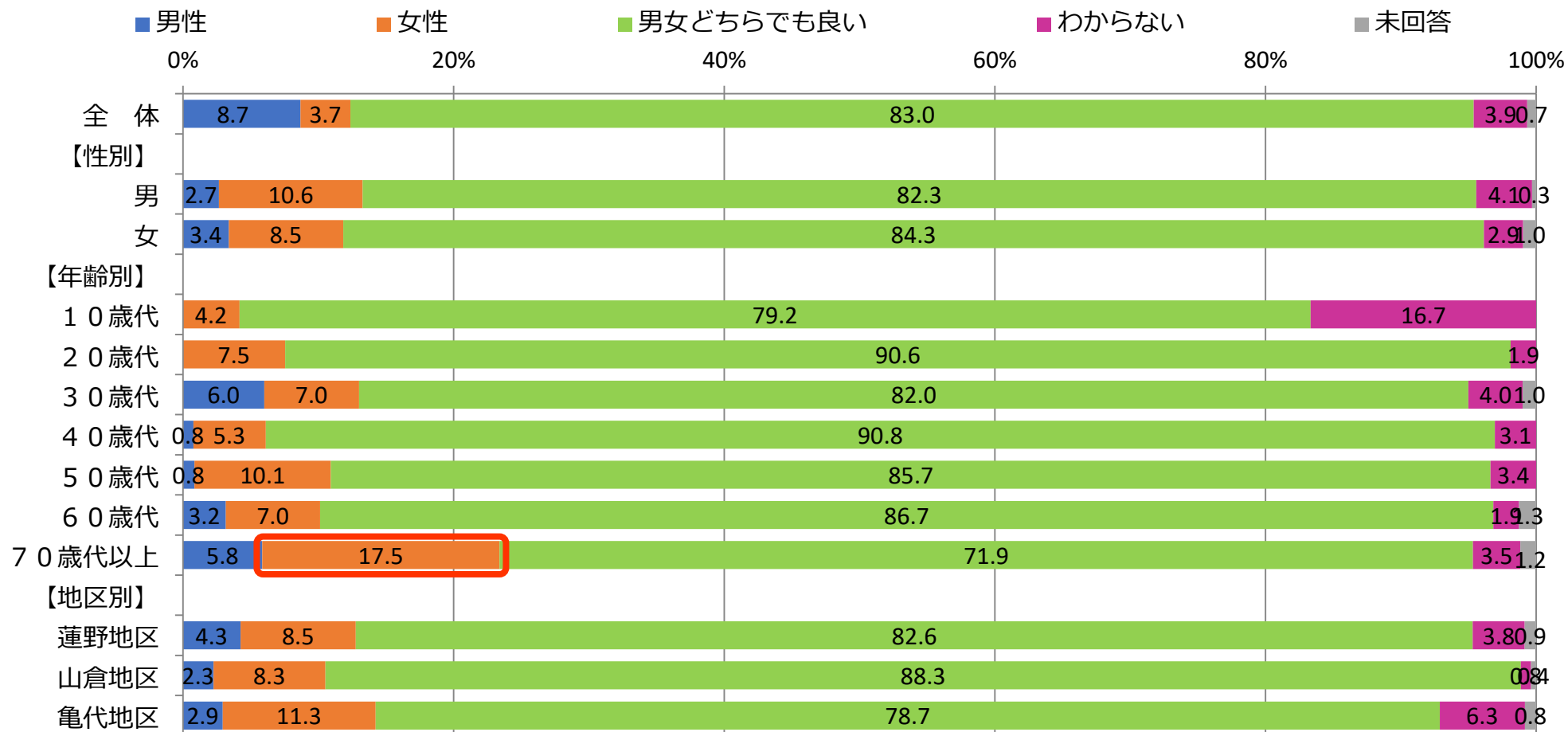
（参考）前回調査比較(H26)



2 クロス集計結果

問5 子どもの行事や集会(H26実施時:PTA)には、男性と女性のどちらが参加した方がよいと思いますか。
【目標値（R4年度末）：なし】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



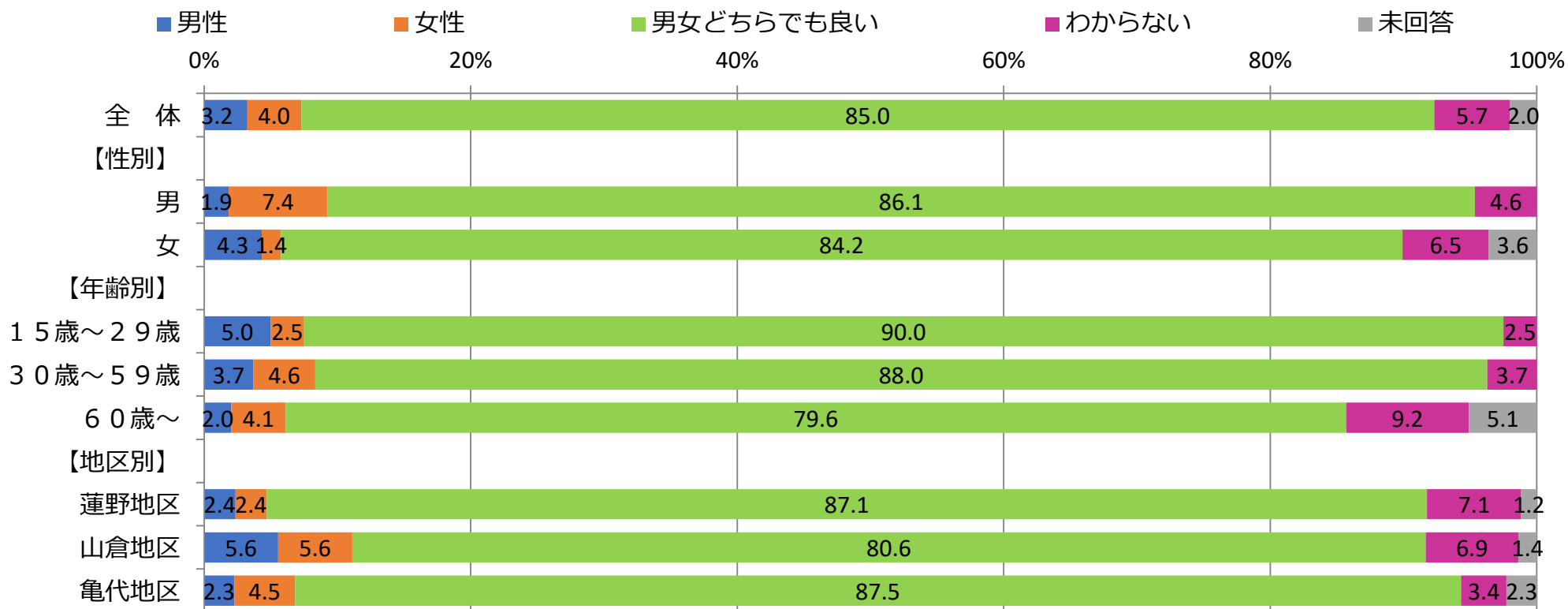
○分析

全世代をとおして「男女どちらでも良い」という意見が大多数であるが、70歳代以上の世代は女性が参加した方がよいという考えが根強い。

2 クロス集計結果

問5 子どもの行事や集会(H26実施時:PTA)には、男性と女性のどちらが参加した方がよいと思いますか。
【目標値 (R4 年度末) : なし】

(参考) 前回調査比較(H26)

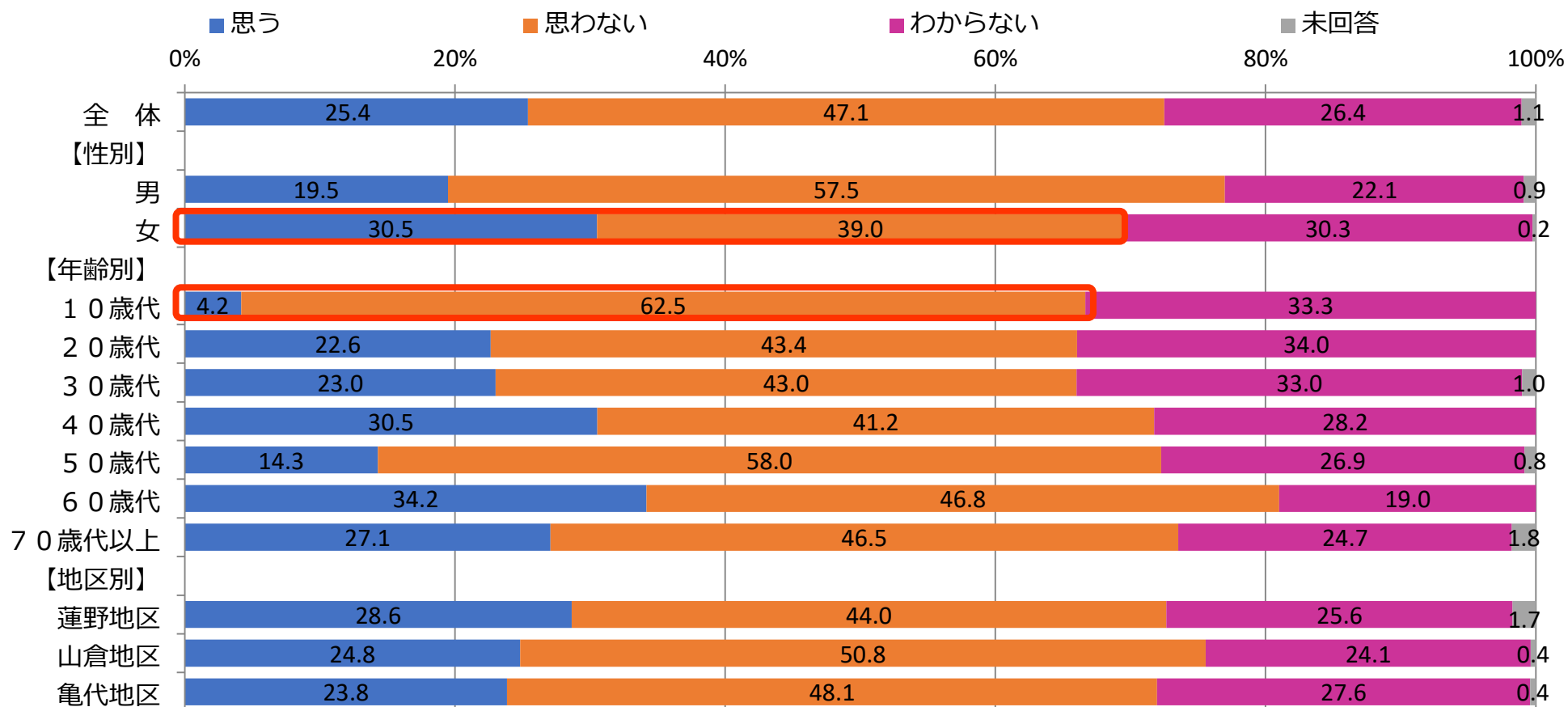


2 クロス集計結果

問6 聖籠町において、女性は男性よりも地位が低い、または立場が弱いと思いますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(29.1%)より減少させる】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

男性と比較すると女性の方が立場が弱いと感じている人の割合が多い。

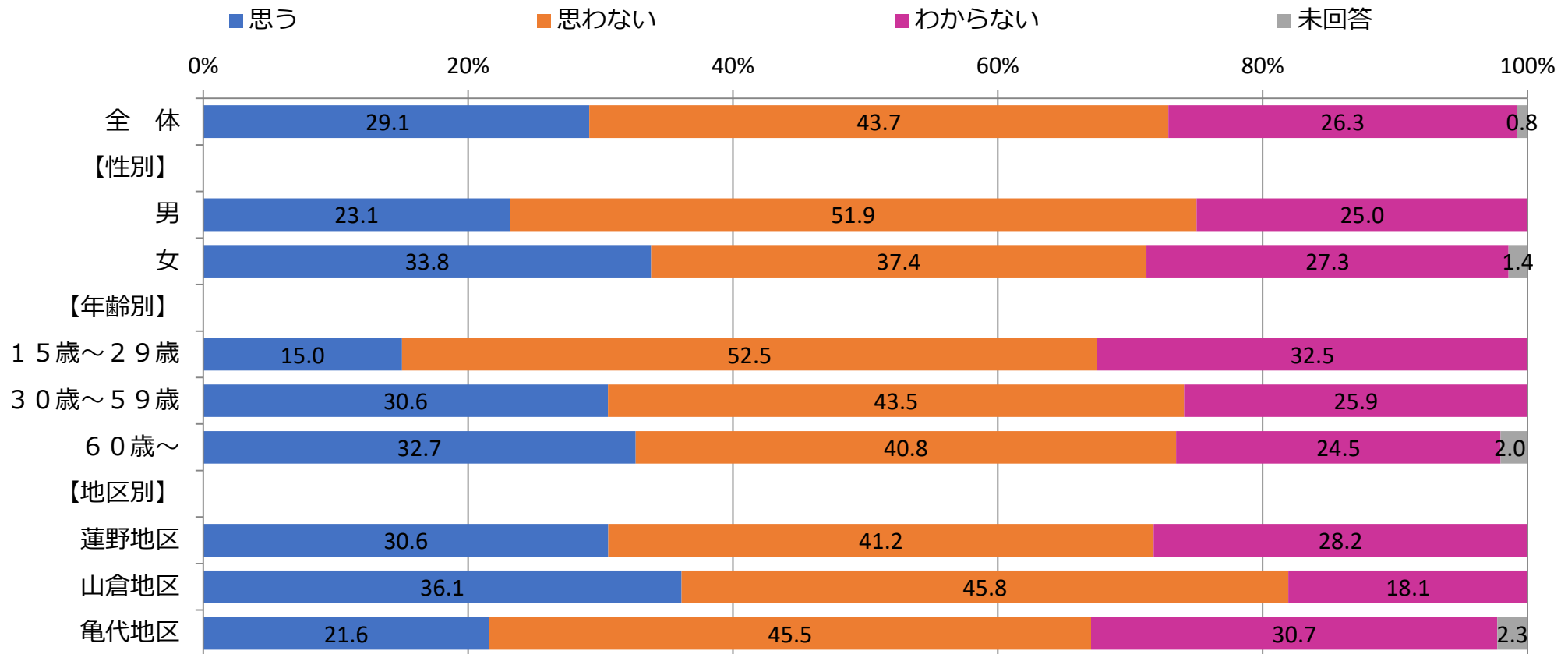
また、10歳代の世代では、他の世代と比較して女性が男性より立場が弱いと考えている人の割合が少ない。

2 クロス集計結果

問6 聖籠町において、女性は男性よりも地位が低い、または立場が弱いと思いますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(29.1%)より減少させる】

(参考) 前回調査比較(H26)

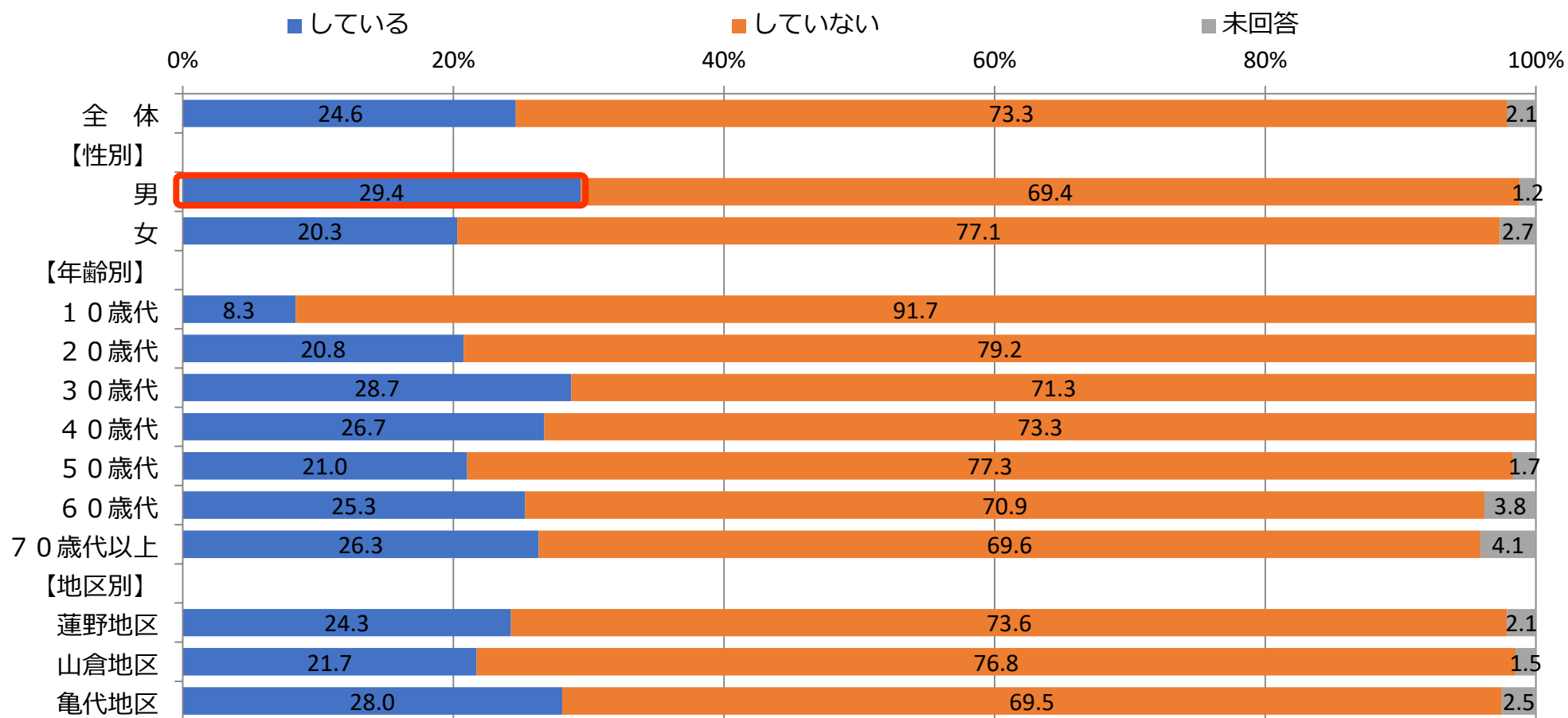


2 クロス集計結果

問7 生活をする上で、貧困など様々な課題に直面していますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(25.9%)より減少させる】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

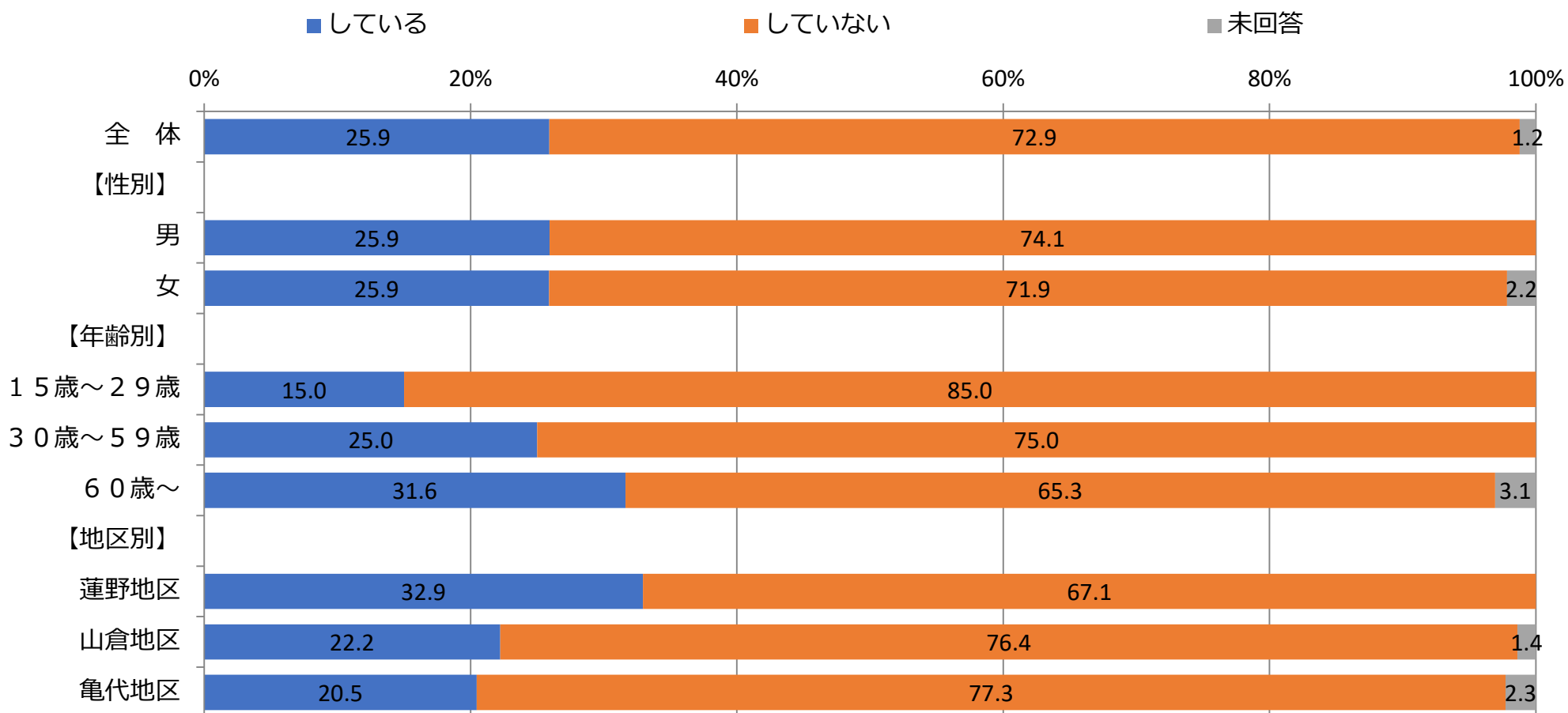
女性と比較すると男性の方が生活をする上で、貧困など様々な課題に直面している人の割合が多い。

2 クロス集計結果

問7 生活をする上で、貧困など様々な課題に直面していますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(25.9%)より減少させる】

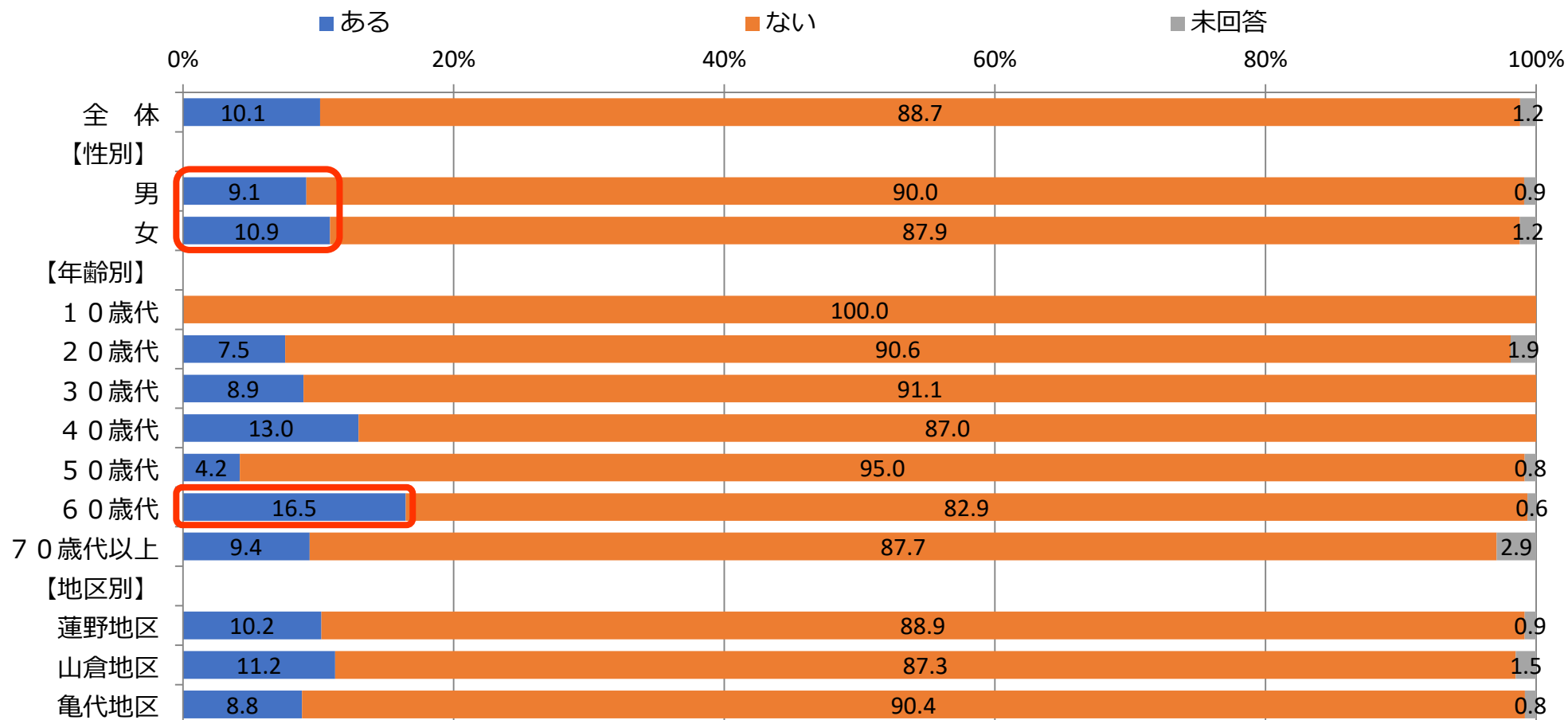
(参考) 前回調査比較(H26)



2 クロス集計結果

問8 配偶者や恋人から身体的、または精神的な攻撃(H26実施時:暴力)を受けたことがありますか。
【目標値 (R4年度末) : なし】

○クロス項目別 (全体、性別、年齢別、地区別)



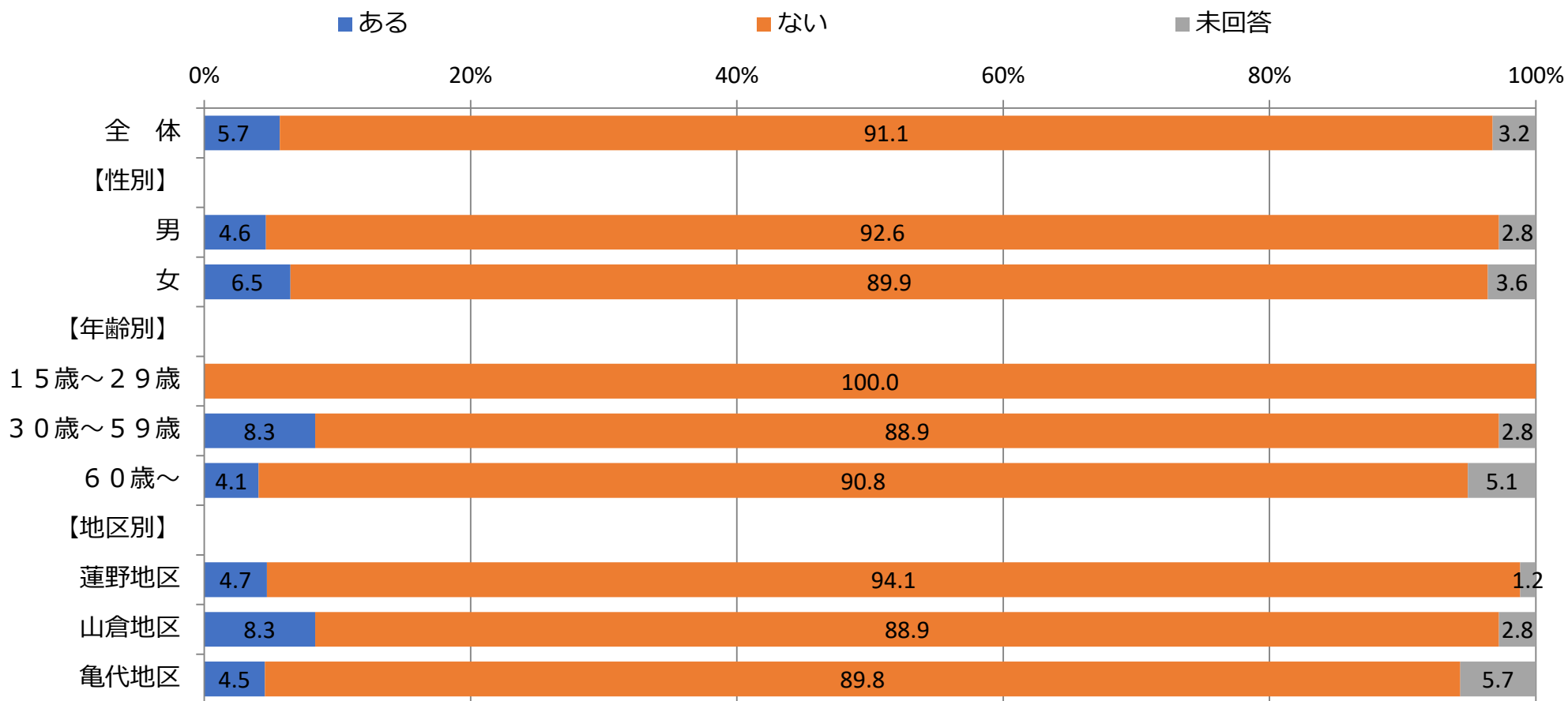
○分析

男性と女性を比較するとわずかではあるが、女性の方が配偶者や恋人からDVを受けたことがある割合が多い。また、60歳代のみ他の世代よりDVを受けた割合が多くなっている。

2 クロス集計結果

問8 配偶者や恋人から身体的、または精神的な攻撃(H26実施時:暴力)を受けたことがありますか。
【目標値 (R4年度末) : なし】

(参考) 前回調査比較(H26)

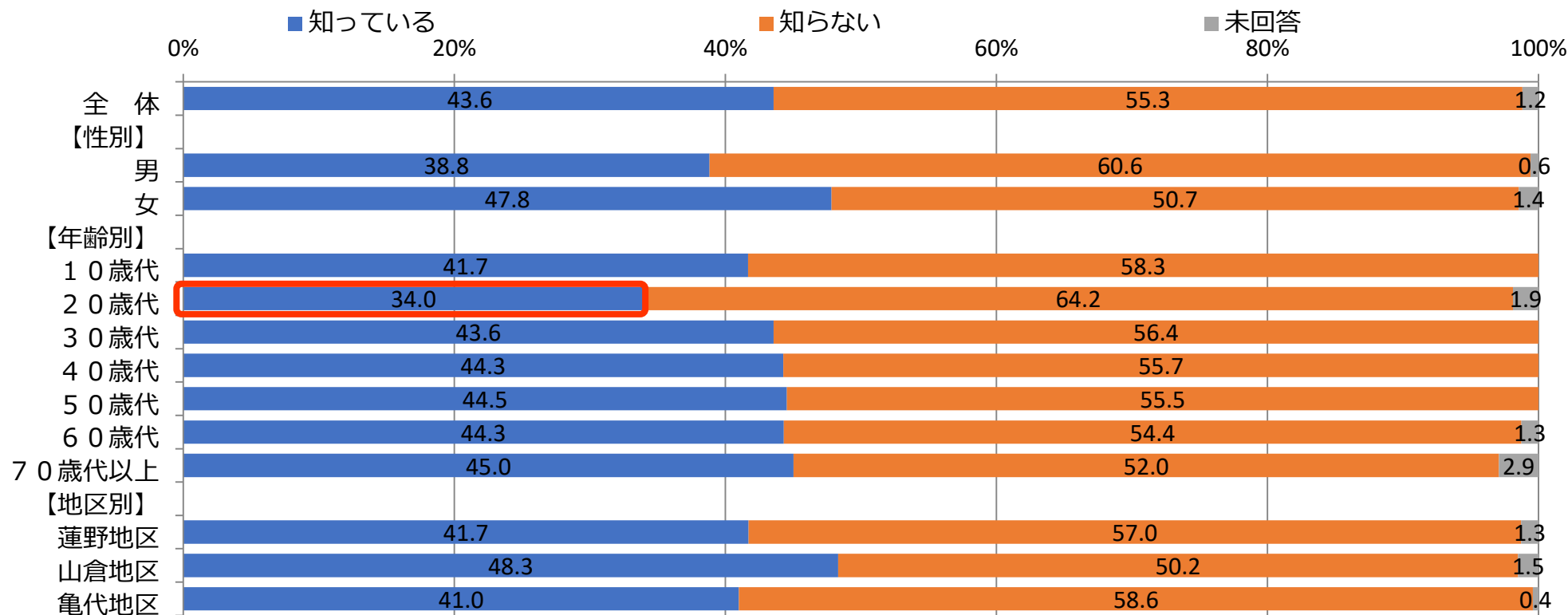


2 クロス集計結果

問9 配偶者や恋人から暴力を受けた場合、相談のための窓口があることを知っていますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(49.4%)より増加させる】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

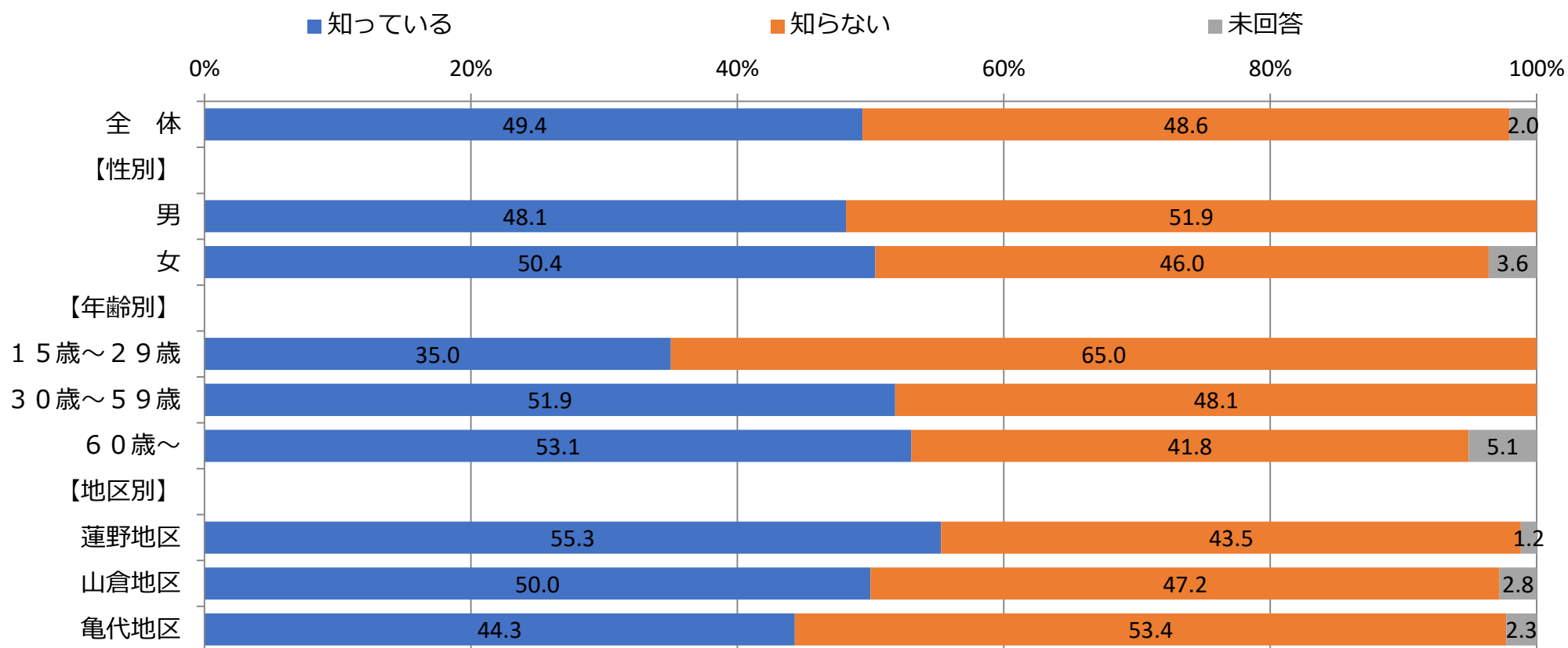
全世代をとおして相談窓口を知らない人の割合が知っている人の割合より多くなっているが、20歳代では特に多くなっているため今後は若い世代への広報に力を入れていく。

2 クロス集計結果

問9 配偶者や恋人から暴力を受けた場合、相談のための窓口があることを知っていますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(49.4%)より増加させる】

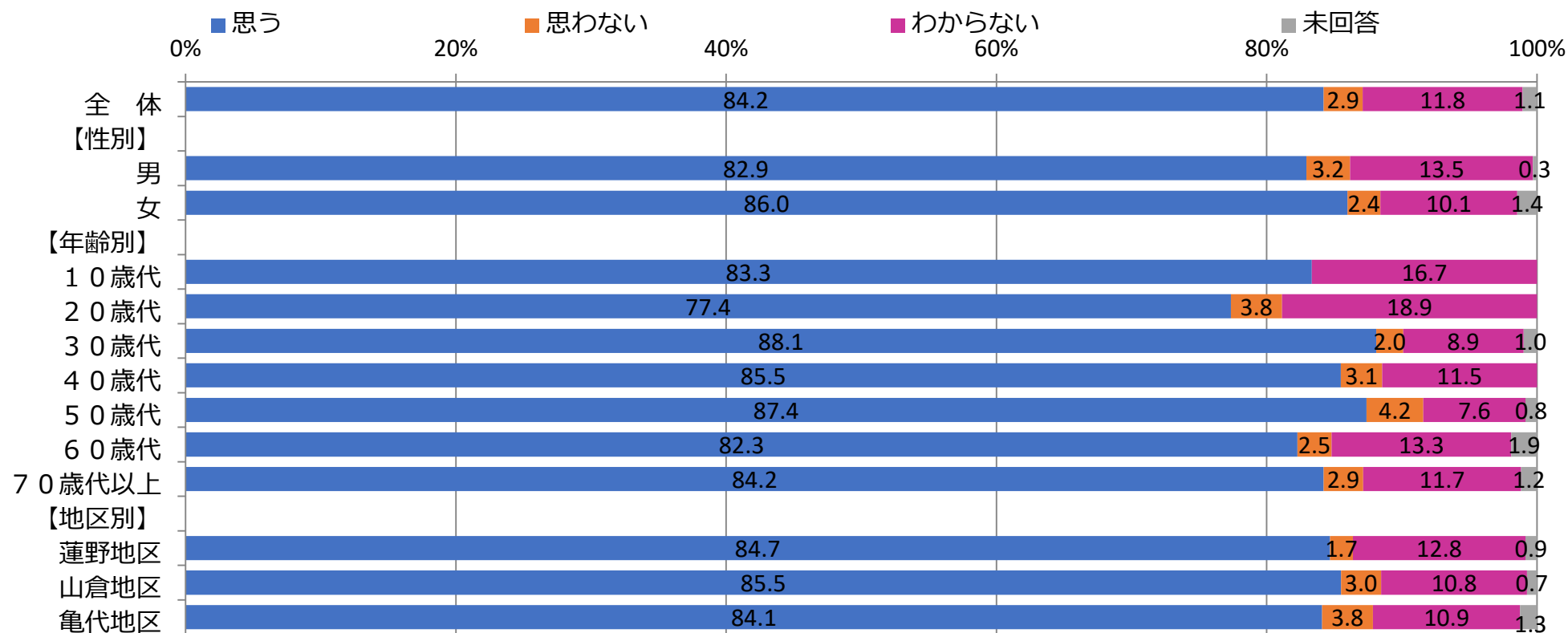
(参考) 前回調査比較(H26)



2 クロス集計結果

問10 女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思いますか。
【目標値（R4年度末）：なし】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



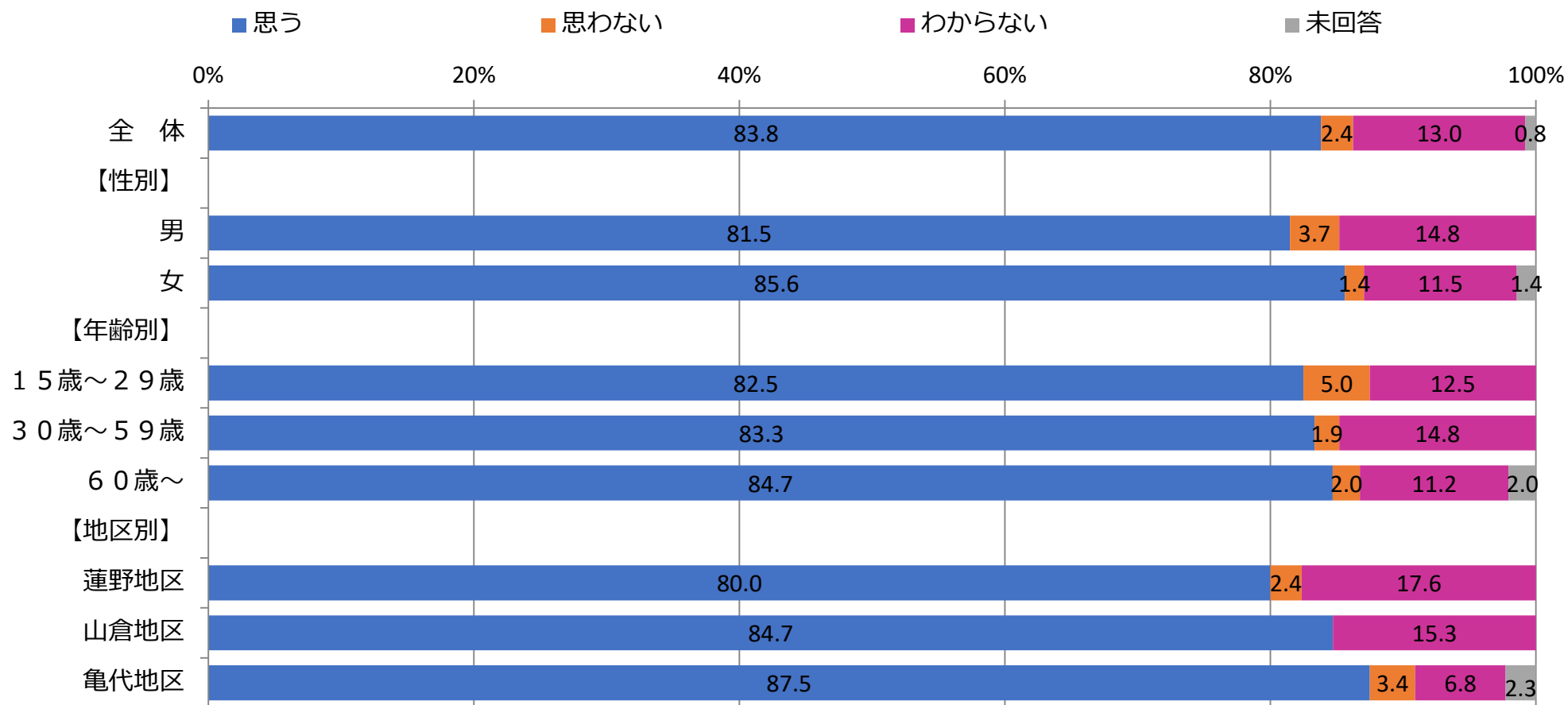
○分析

全世代をとおして女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思う人の割合が大多数となっている。

2 クロス集計結果

問10 女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思いますか。
【目標値（R4年度末）：なし】

（参考）前回調査比較(H26)

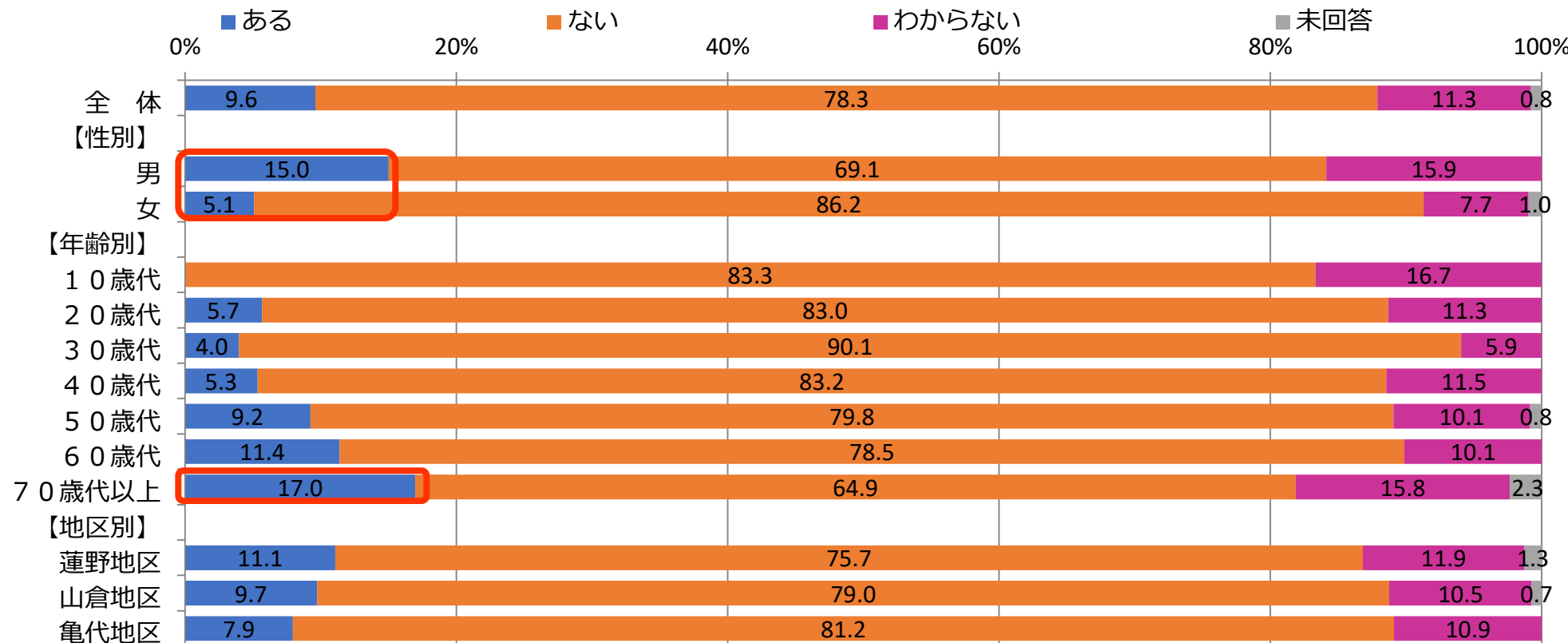


2 クロス集計結果

問11 男性が育児、炊事などの家事の役割を主体的に行うことに抵抗感がありますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(14.6%)より減少させる】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

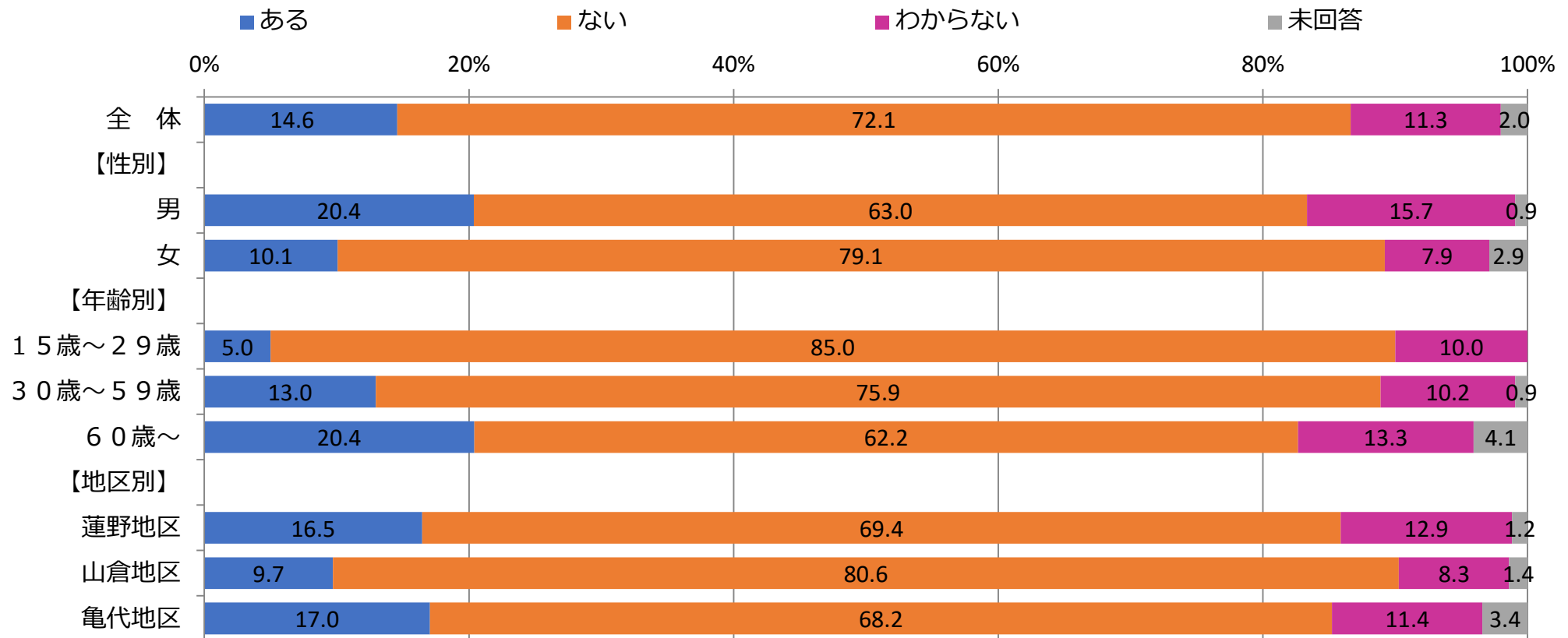
全世代をとおして男性が育児・炊事などの家事の役割を主体的に行うことに抵抗感がない人が大多数であるが、男女を比較すると男性の方が抵抗を感じる人の割合が多く、70歳代以上でも抵抗を感じる人の割合が多くなっている。

2 クロス集計結果

問11 男性が育児、炊事などの家事の役割を主体的に行うことに抵抗感がありますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(14.6%)より減少させる】

(参考) 前回調査比較(H26)

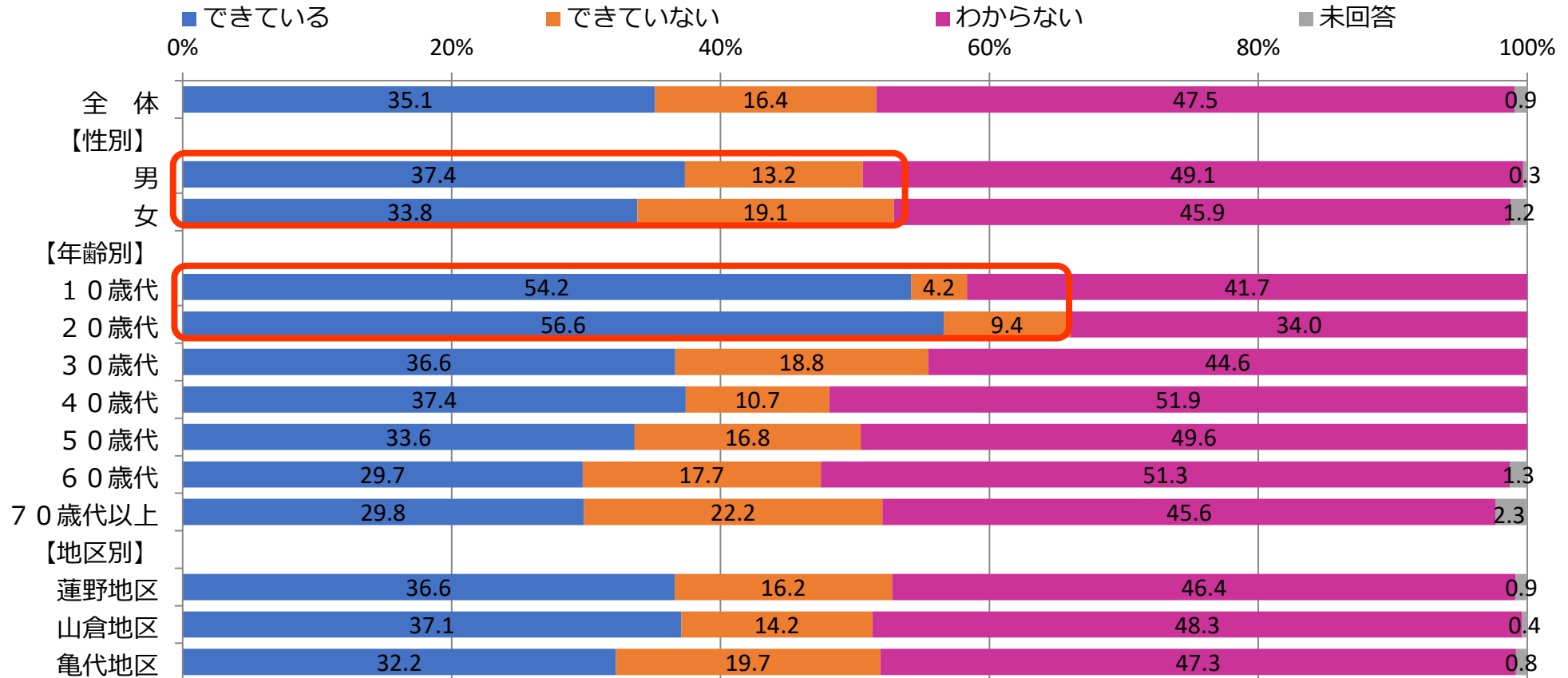


2 クロス集計結果

問12 あなたは、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できていますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(34.0%)より増加させる】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

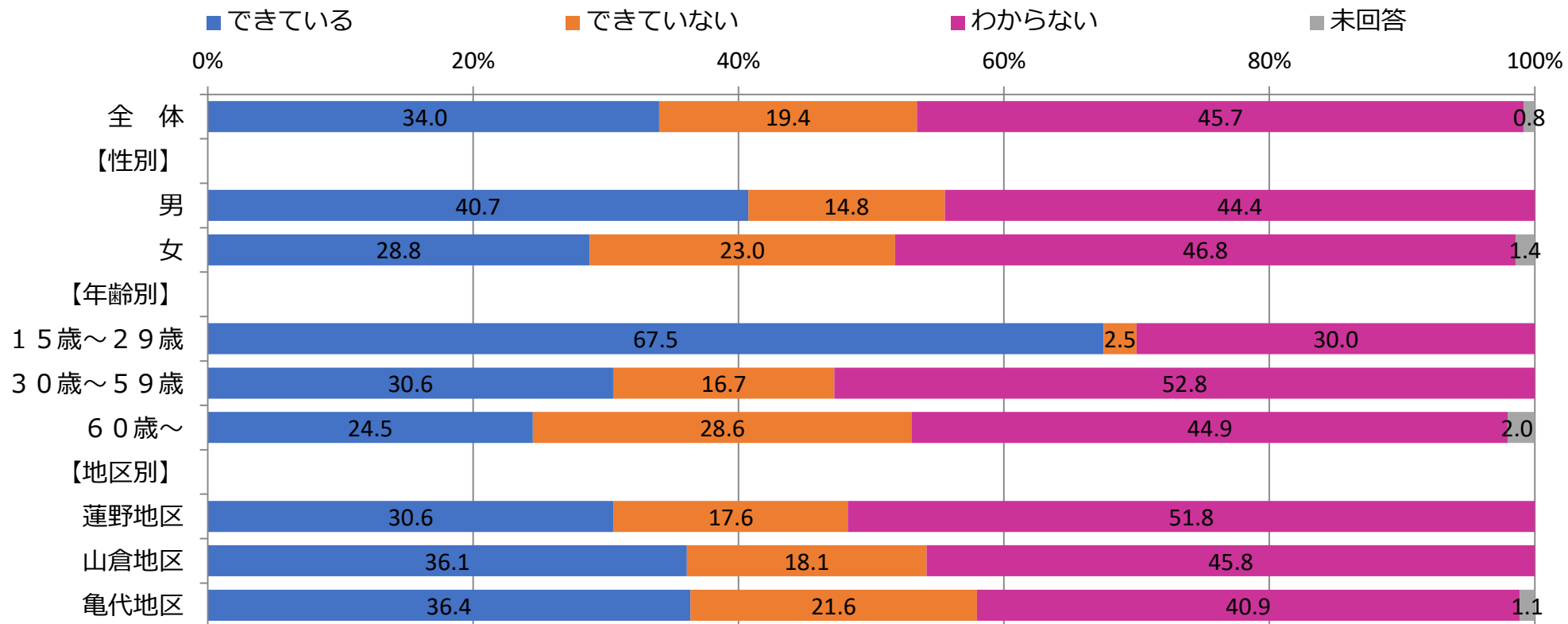
男女で比較すると、性別にとらわれることなく個性と能力を発揮できていないと回答した人の割合は女性の方が多いとなっている。一方で、10歳代～20歳代は発揮できていると回答した人が過半数を超えている。

2 クロス集計結果

問12 あなたは、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できていますか。

【目標値（R4年度末）：基準値(34.0%)より増加させる】

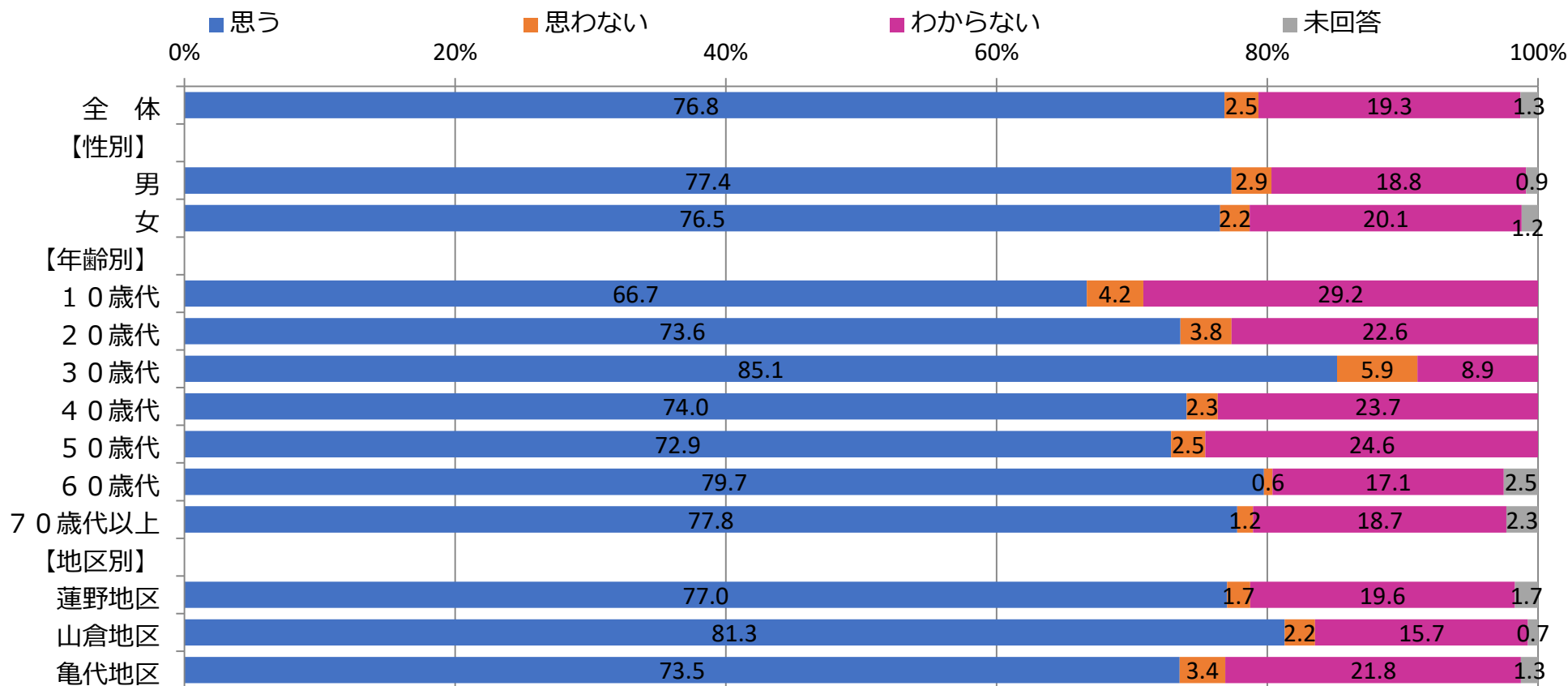
(参考) 前回調査比較(H26)



2 クロス集計結果

問13 聖籠町は、性別にとらわれず、個人がその個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に力を入れていくべきだと思いますか。 【目標値（R4年度末）：なし】

○クロス項目別（全体、性別、年齢別、地区別）



○分析

聖籠町は、性別にとらわれず、個人がその個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に力を入れていくべきであると回答した方が全世代とおして大多数であった。

2 クロス集計結果

問13 聖籠町は、性別にとらわれず、個人がその個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に力を入れていくべきだと思いますか。 【目標値（R4年度末）：なし】

(参考) 前回調査比較(H26)

